

## 1 業務概要

島根県邑南町にて、JR三江線の廃線前から鉄道資産を新たな地域資源として生かすための取組を推進。本事業では、昨年度明らかになった当地域の現状や洗い出された課題、実現したい観光のあり方を踏まえ、ステークホルダーとの更なるつながりを強めつつ、実行性の高いプラン策定を行うものである。

### 実施方針

- 1 エンジニアツーリズムの定義と商品化の道筋を明らかにする
- 2 鉄道資産の保全・活用に向けた管理体制を構築する
- 3 エンジニアツーリズムの推進を担う意志あるプレイヤーを発掘・育成する

## 2 検討会の開催

当地域に関わるステークホルダーほか、テーマに関連する有識者・専門家等を構成員とする検討会を設置し、3回の会議を開催、現状共有、取組の方向性や、施策、目標の素案作成を行った。

回数	日時	議題等
第1回	令和6年8月8日	調査概要、調査計画、モニターツアーの実施方針等
第2回	令和6年10月2日	エンジニアツーリズム開発に向けた検討、モニターツアーの実施計画、鉄道資産の保全と活用調査を踏まえた新規事業開発に向けた検討
第3回	令和7年1月16日	各種調査結果、鉄道資産の保全・活用のあり方、事業プラン

## 3 エンジニアツーリズムの開発に向けた調査

### 3-1. エンジニアツーリズムの需要調査及び活用方策の検討

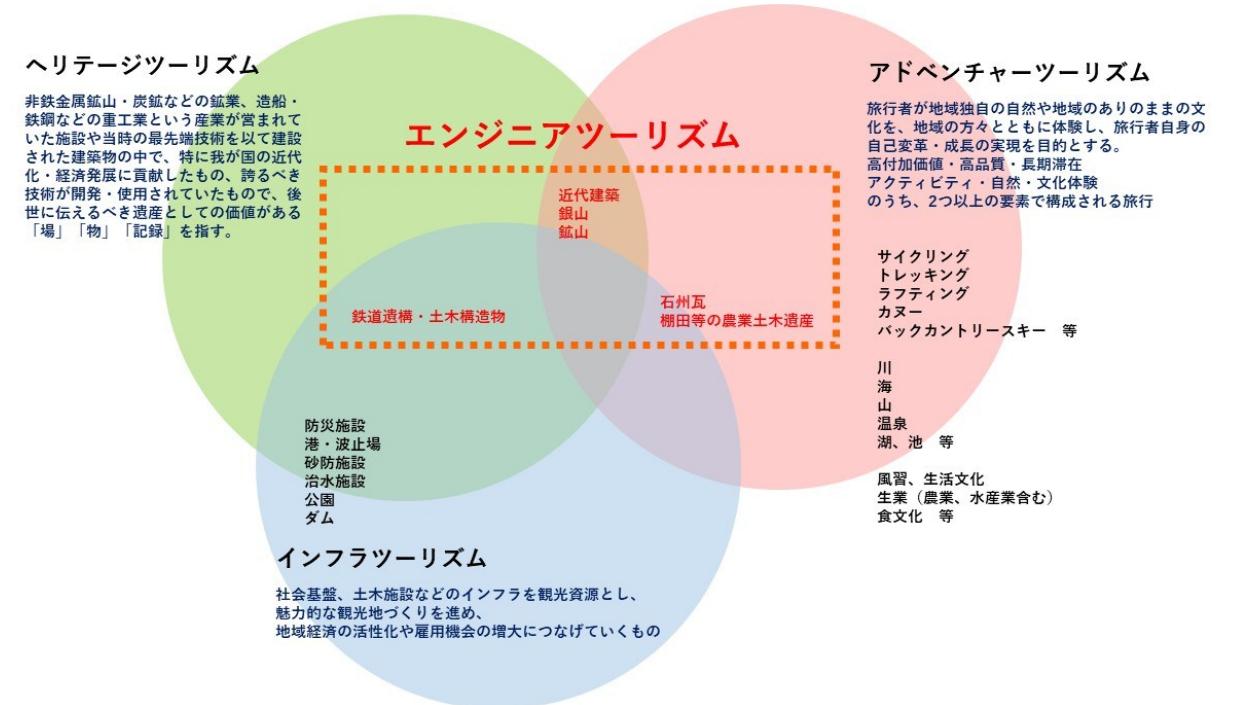
ヒアリング調査、先進事例調査結果(国土交通省 国土総合研究所スタディーツアー)を踏まえ、検討会での意見を反映し、エンジニアツーリズムの定義を設定した。

#### ●ヒアリング調査概要

区分	対象者	結果概要
建設業	大成建設(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入社員研修、管理職研修、福利厚生研修等でのエンジニアツーリズムの需要や連携可能性</li> </ul>
	(株)竹中工務店	
	(株)安藤・間	
	日本工営(株)	
自治体	島根県	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修等のニーズ</li> <li>事業化の可能性 等</li> </ul>
学校 研究機関	島根県技術士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジニアツーリズムへの関心</li> <li>鉄道資産への関心や活用可能性</li> <li>会員によるエンジニアツーリズムの需要 等</li> </ul>
	公益財団法人土木学会	
	松江工業高等専門学校	
	東京大学	
	日本大学 土木工学科	
旅行会社	日本旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジニアツーリズムへの関心</li> <li>提供価値の高いコンテンツのあり方 等</li> </ul>
	専門家 (株)narrative	

#### ●エンジニアツーリズムの定義

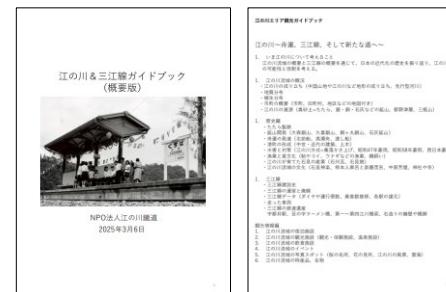
「ものづくり」「技術」を軸とし、地域に根差した日本の歴史の連続性を感じるコンテンツによって持続的な地域・社会のあり方についての旅行者の自己変革を促す旅。



### 3-2. モニターツアー等の実施

エンジニアツーリズムのコンテンツ化の視点で地域資源を評価した。また、エンジニアツーリズムの確立に向けガイドブックの記載事項の整理、ガイド人材の育成を行った。モニターツアーの実施を通じて、ターゲット顧客の評価を確認し、今後のコンテンツ開発の方向性を検討した。

#### ●ガイドブックの記載事項の整理



#### ●ガイド養成講座の実施 (11月20日)

三江線がなぜここに走るようになったのかを理解し、鉄道遺構について来訪者に伝えることができるガイドを養成するため、講座を実施した。



#### ●モニターツアーの実施

日時	2024年12月3日(火)～2024年12月5日(木)
参加者	7名 ・株式会社安藤・間 技術研究所 5名 ・株式会社大成建設 2名
ガイド	・NPO法人江の川鐵道 森田一平氏(ツアー全体・街並み・歴史) ・島根県技術士会 鉄道遺構研究分科会旧三江線グループ 酒井雄壮氏、岸根真志氏(鉄道・土木構造物)
訪問先	広島県三次市、島根県邑南町、大田市(温泉津町)、江津市、川本町
料金	30,000円/1名(参加者負担)



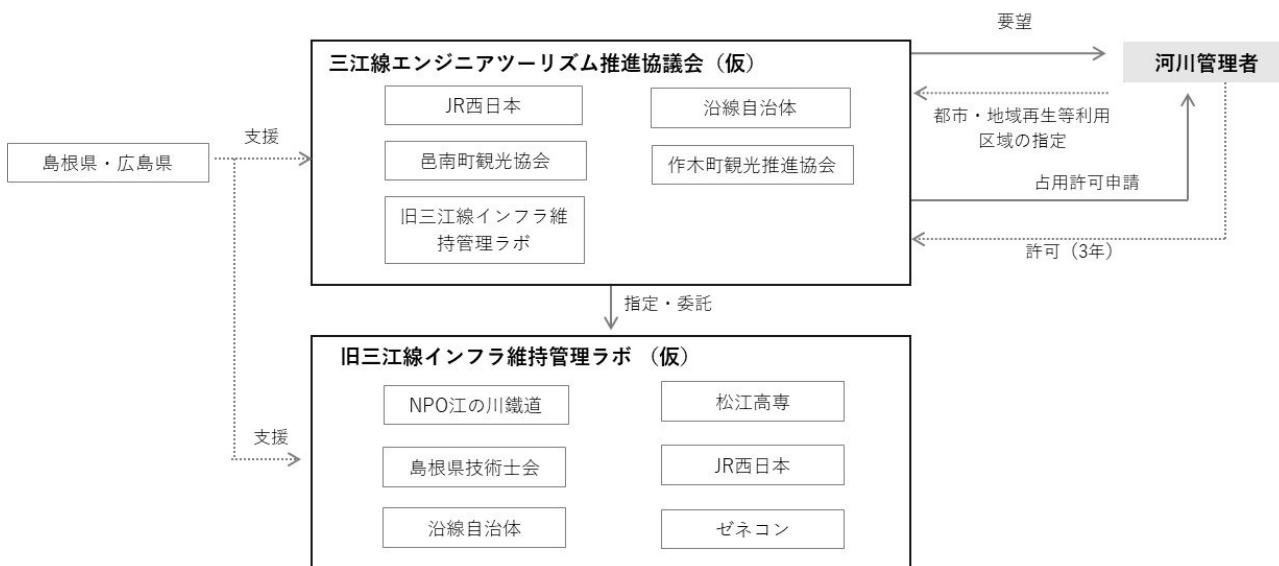
### 3-3. 周辺エリアの観光・宿泊・飲食等と連携した滞在プランの作成

- モニター調査に加え、旅行・観光開発のノウハウを有する株式会社日本旅行の協力を得て専門家を交えた検討を行った。その結果、以下の5つのモデルプランを整理した。

顧客	テーマ	日程・料金(1名)	想定される対象者の訪問目的
土木建設業者・設計・建設業者	技術者の専門性と社会的教養の広がり重視した建設業界の若手社員を対象とした任意参加型の研修プログラム	広島発着2泊3日 10名=70,000円	新入社員研修、管理職研修の場として、エンジニアとしての成長のため、技術と人々の暮らしについて多角的な視点から示唆を得る
日本人グループ旅行	中国地方最大の河川江の川をめぐり日本の産業を発展させた製鉄と鉄道の歴史を体感	広島発着日帰り 最小催行 15名=18,300円 20名=15,600円	日本の歴史を多角的な視点から学ぶ日本人の暮らしに根付く技術の変遷を辿る地域に根差した食材やグルメを堪能する
	地域の産業を支えたたたら製鉄と旧三江線の歴史を辿りながら日本遺産石見神楽を含む地域の光を発見	広島発着1泊2日 最小催行 15名=47,000円 20名=41,300円	日本人の暮らしに根付く技術・文化を知る地方の課題を転換させた現場の取組を知る地域の特性を学べる体験コンテンツ
日本人グループ旅行 個人旅行	天空の「廃線レストラン」でたべるフルコースランチと江の川鐵道のトロッコ乗車体験 ※石見銀山、出雲大社、松江城に向かうツアーの一環	広島発着周遊 ※料金は、その他観光地との兼ね合いで決定	ここでしかできない、特別な体験ができる里山の景観、グルメを堪能する島根の名所を効率的に周遊できる
中学生 高校生	「過疎発祥の地」で地域が輝くため課題に向き合うスタディツアー	島根県内発着2泊3日	修学旅行、探究学習、地域学習の場として、地域づくりの実践の場から、地域、社会を学ぶ。県内西部エリアの企業について知る体験コンテンツ、振り返り学習等を通じた学習効果の向上

### 4 鉄道資産の保全と活用調査を踏まえた新規事業開発に向けた調査

- 自治体、JR西日本、河川管理者へのヒアリング調査等を通じて、河川管理者の要求を満たす鉄道資産の管理・活用体制の実現に向け「都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例(河川空間のオープン化の特例)」の適用を受けることが受けることを一つの方策として確認した。
- その実現に向け、「三江線エンジニアツーリズム推進協議会(仮)」「旧三江線インフラ維持管理ラボ(仮)」による推進体制を検討した。



### 5 「陰陽連絡100年の夢」プラン策定

#### 5-1. 調査結果の総括

- 昨年度から今年度にかけて実施したニーズ調査において、特に企業・学校における研修プログラムとしてのエンジニアツーリズムの可能性を確認できた。
- 今後のコンテンツ開発に向けたポイントとして、【地域の歴史、課題を知る】+【鉄道遺構を介した専門的な学び】+【未来を見据えた取組に触れる】=公私両面から自己変革をもたらす学びを兼ね備えたコンテンツやプログラムの開発を推進することが望ましいことが明らかになった。
- その実現に向け以下の取組を進めることが有効である。

#### ① 有形、無形、体系的なガイドの整備

#### ② 多様なニーズに応えられるツアー、観光地運営の実践

#### ③ 意思あるプレイヤーの参画と協働

#### 5-2. 誘客戦略等

- 5つのターゲット属性とツーリズム構築の発展プレセスを設定。NPO法人江の川鐵道が実施するトロッコ列車運行事業を核に、段階的にエンジニアツーリズムの取組を拡大し、2033年に入込客数5万人を達成することを集客目標に設定した。

#### ● エンジニアツーリズムの販売体制

パターン1	NPO江の川鐵道が旅行者としてエンジニアツーリズムの企画・実施を行う	地域の意向を反映した旅行の企画・実施が可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行業の登録を行う必要がある。</li> <li>旅行業務取扱管理者を確保するとともに、旅行業の区分に応じて登録要件を満たす必要がある。</li> <li>事業実施に向けた組織体制の充実が求められる。</li> </ul>
パターン2	NPO江の川鐵道がイベントの企画を担い、(一社)邑南町観光協会が旅行の企画・実施を行う	地域の意向を反映した旅行の企画・実施が可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集型旅行の実施が邑南町の隣接自治体に限定される。</li> <li>エンジニアツーリズムの推進についての動機を明確にする必要がある。</li> <li>事業実施に向けた組織体制の充実が求められる。</li> </ul>
パターン3	NPO江の川鐵道がイベントの企画を担い、大手旅行会社(日本旅行等)が旅行の企画・実施を行う	あらゆる形態の旅行商品の企画・実施が可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行会社の要求に応じた魅力あるコンテンツ開発、受入体制整備が求められる。</li> <li>エンジニアツーリズムの実施が旅行会社の意向</li> </ul>

#### ● ターゲット仮説

区分	ターゲット	想定される対象者の訪問目的
技術者	建設業者の中堅社員 知識欲のある若手社員	中堅社員のフォローアップ研修 福利厚生の一環としての自主参加型の研修
	アジア圏出身の土木技術者(大学院含む)	日本の土木技術の変遷を学ぶ
一般	時間的、金銭的余裕があるグループ旅行者	定番の旅行先、グルメやレア体験を入り口に、新たな人や地域と出会う
	知識欲の高い個人旅行者・インバウンド客	来訪した先で自己変革につながる学びを得たい
	中学生・高校生	修学旅行、地域学習にて地域づくりの取組を学ぶ

#### ● ツーリズム構築のプロセス

